

2025年9月5日

大阪府知事 吉村 洋文 様
大阪市長 横山 英幸 様

明るい民主大阪府政をつくる会

【大阪・関西万博】いのちと安全を守るため第2次緊急要請

万博の閉幕まで1カ月余り、依然として幾多の問題が解決せず不安が解消されていません。

さる8月13日午後9時半、停電が原因で大阪メトロ中央線の「運転見合わせ」、多くの人が帰宅困難となりました。会場へのアクセスは橋とトンネル、地下鉄の三つに限られ、来場者の7割超がメトロ中央線を利用しています。万博協会によると、足止めされた来場者は約3万人に達する一方で、会場で夜を明かした人数は「トラブル後の状況が不明」（広報担当者）と公表していません。さらに、帰宅困難者に対する情報発信も不十分で、パビリオン内の休憩場所、必要な飲食の提供など不十分であり、災害時の危機管理体制が機能していません。

また、7月30日のロシア・カムチャツカ半島沖地震の発生に伴う「津波注意報」の発表を津波到達予想時刻を過ぎて場内アナウンスし、迅速で正しい情報の提供に大きな課題を残しました。

今後、台風シーズンも迎えるもとで、来場者のいのちと安全を守るため、災害時や非常事態での実効ある避難計画や安全対策を明らかにし、危機管理体制の確立を緊急に求めるものです。

- (1) メタンガス等の発生状況の周知、熱中症や混雑時の安全対策が不十分です。8月13日夜、大阪メトロ「運転停止」から翌朝までに熱中症で「36人が救急搬送」と発表し、大阪市消防局は「救急搬送50件」と発表しています。食い違いの理由の説明と正確な情報把握、迅速な情報発信の提供を求めます。救護所の増設とともに、休憩できるスペースの増設を強く求めます。
- (2) 台風や地震、線状降水帯など自然災害時に、安全確保を最優先して来場者と運営スタッフの避難場所を周知し、あらゆる事態を想定して有効な避難計画を策定すること。さらに、緊急時には、早めの会場閉鎖と入場制限を含め、迅速かつ的確な対応を求めます。
- (3) 高齢者や子ども、持病のある人には重症化のおそれもあります。「災害級」「非常時」の事態にあたっては、来場者の安全を確保するために、パビリオンの開放、災害時の備蓄品の提供など、速やかにマニュアルに沿った改善を求めます。
- (4) 万博の運営費1160億円に対し、8月上旬に入場券の販売枚数が「損益分岐点」の1800万枚を突破し、売上高で「黒字化の目安」を超えたと報じられています。その一方で、会場外駐車場の収支問題が指摘されています。収益確保の過度な集客はしないこと。さらに、過剰な混雑を避けて、適切な情報発信、来場者が安心してパビリオンに入館できる体制の強化を求めます。